

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状(DOC)	事務事業名	No. 540101 低公害車普及促進補助事業					主管課名	環境課				
	この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境					課長名	小野田 幸男			
		施策	環境と人にやさしいまち									
		基本事業	環境の保全									
	(1) 事業の概要											
	低公害車普及促進事業補助金 【補助対象】低公害車を自ら使用する目的で購入し、新車登録時点で6ヶ月以上市内に在住している個人 【対象車両】電気自動車、ハイブリッド車、天然ガス自動車、メタノール自動車 【補助金額】車両本体価格の5%(上限80千円)					(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名称		単位				
						補助金額		千円				
						その指標						
	(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)											
26年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2) 対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
市内で登録される普通乗用車の所有者					名称		単位					
					市内普通乗用車登録台数		台					
(3) 意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7) 成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
低公害車へ移行してもらう					名称		単位					
					補助台数		台					
					補助累計台数		台					
(4) 結果(上位基本事業の意図)					(8) 結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
生活環境の状況を把握し改善する					名称		単位					
					温室効果ガス累計削減量		t-co2					
(9) 事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
(5)の活動指標		千円	31,998	32,000	24,000	24,000	24,000	24,000				
(6)の対象指標		台	12,090	12,850	12,850	12,850	12,850	12,850				
(7)の成果指標		台	400	400	300	415	415	415				
		台	1,413	1,813	2,113	2,528	2,943	3,358				
(8)の結果の成果指標		t-co2	4,946	6,346	7,396	8,446	9,496	10,546				
(10) 予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	05
(11) コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	31,998	32,000	24,000	24,000	24,000	24,000				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	31,998	32,000	24,000	24,000	24,000	24,000				
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0				
人件費 B		千円	905	892	892	892	892	892				
正職員従事時間×人数		時間×人	73×3	73×3	73×3	73×3	73×3	73×3				
正職員以外の人件費		千円	80	80	80	80	80	80				
その他費用 C		千円	205	233	233	233	233	233				
トータルコスト A+B+C		千円	33,108	33,125	25,125	25,125	25,125	25,125				
単位あたりコスト		千円/台	3	3	2	2	2	2				
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	540101低公害車普及促進補助事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		平成18年度		から
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		国の地球温室化効果ガス削減目標などが示されたことにより		
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？		変化していない 変化している → 変化し内容		
		低公害車の技術が発達し、特にハイブリッド車の車種が増加している		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？	特に意見はない

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
		自治事務 →	根拠法令	みよし市低公害車普及促進事業補助金交付要綱		
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由	この事務を行う根拠又は理由	温室効果ガスの排出抑制を行うことで地球温暖化防止に寄与する
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	内容		
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	内容		
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由又は内容	温室効果ガス排出抑制の妨げになる	
		(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない	理由又は内容	補助台数を増やすことにより成果の向上がある	
		(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	類似事業名の再編の可能性	住宅用太陽光発電システム設置補助事業 他	ある → 内容 ない
	効率性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない	内容		
		(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 受益者がいない	内容			

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	温室効果ガスの排出抑制のために必要であり、今後も継続していくが、ハイブリッド式自動車については車種の増加と普及の状況から、より温室効果ガスの抑制に効果の高い燃料電池自動車、電気自動車またはプラグインハイブリッド自動車への補助を充実するなどの見直しを行うこととする。					